

学習シリーズ

# いま、改めて 自民党改憲案を問う

社会活動部 中尾 忍

すすめられる

## 危険な軍拡政策

2022年2月に始まったロシアのウクライナ侵略、昨年10月のイスラエル軍によるガザ地区への攻撃、戦闘地域では罪のない多くの市民が命を落としています。

こうした世界情勢の中、日本政府は2022年12月に「安保3文書」を閣議決定し、防衛費を2倍の11兆円にして、ロシアや中国を仮想敵国として台湾有事なども想定した「敵基地攻撃能力」を保有する政策を押し進

めています。

2023年12月には「防衛装備移転三原則」とその運用指針の改定を閣議決定し、殺傷能力を保有する武器の輸出を解禁しました。これによつて、日本がイギリスやイタリアと共同開発している高性能な「次期戦闘機」を完成品のまま、日本から第三国へ輸出することが可能となります。

## 憲法改定の狙いは 戦争のできる国

日本が共同で開発・製造し輸出した武器が人の命を奪うことになり、他国から日本が敵視され攻撃の標的となることも否定できません。

こうした政策には、岸田首相が任期中の改憲を主張する背景があり、自民党の改憲案を基に国会でも論議が行なわれています。

改憲案の項目にある「緊急事態条項の新設」では、緊急時の「国会議員の任期延長」について議論されています。

このことを国民の視点から見ると、議員の任期を延長することは選挙期日の延長で、言い換えれば「国民の選挙権を奪

う」こととなります。こうした事は2005年の在外邦人選挙権制限違憲裁判の最高裁判決で「憲法違反である」と明確に示されています。

改憲案では、内閣総理大臣は議会にかけず緊急事態の宣言を発する事ができ、宣言が発せられた場合は、誰もが絶対に「公の機関の指示に従わなければならない」とされ、第9条には国防軍（自衛隊）の保持を追記し、緊急時には内閣総理大臣の判断で活動できるとされています。

## できることから 始めよう

法律は基本的にあとから追加されたものが、より効力を持ちます。つまり、内閣の独断で緊急事態を宣言すれば、議員の任期が延長され、内閣の判断で武器を持った自衛隊を戦地へ送ることができるとなるのです。

日本政府がすすめる改憲や法改定は、日本を「戦争のできる国」にする道であり、人々の命や生活を破壊する道です。平和憲法をまもり、いのち・くらしを守るためにさまざま方法で声を上げ、まずは署名や身近な人に話をするなど自分のできることから行動を起こしていきましょう。

## 平和行進で思いを届けよう

### 6月5日清須〜10日岩倉・一宮・江南へ

5月6日に東京夢の島を出発する平和行進は、6月5日清須市・北名古屋

屋市、6日津島市から稲沢市、10日に岩倉市・一宮市・江南市をつなぎます。

今年には全てを通してデモ行進し、翌11日には犬山を経由して岐阜県へと引き継ぎます。

今年にはビキニ被災から70年、2025年は広島・長崎の被爆から80年になりますが、未だ1万発以上の核兵器が世界各地で保有されています。核兵器禁



昨年(2023年)の平和行進

止条約の署名国は93カ国、批准国は70カ国となり、世界では「核兵器は国際法違反」の世論が多数となっています。

平和行進当日には反核・平和を訴えるプラカードなどのグッズを持ち寄り、道行く人たちにアピールしながら行進して平和への思いを広げます。

千羽鶴の制作やグッズ購入などでも参加できます。多くの「非核・平和の思い」を広島・長崎へ届け、世界から核兵器をなくしましょう。

## 尾張健友会予算総会 全会一致で議案成立



3月30日、医療法人尾張健友会の予算総会を出席者47名、委任状563名で行ないました。

朝井理事長は「医療・介護労働者を確保するのが難しい時代になりました。2025年からの中長期計画では職員にとっても魅力ある病院を目指していきます」と挨拶しました。

第1号から4号議案はすべて全会一致で成立。会場では5名の方から社

## 健友福祉会だより

ホームページ: <http://www.chiki.com/fukushi>

### 4月の外出イベントは お花見ドライブ

藤が丘デイサービスセンター

春になり、ようやく暖かくなってきました。最近遠出もできていなかったため、4月4日「堤防の桜を見ながらドライブを楽しみ、喫茶店でゆっくりとコーヒータイムをしましよ



立ち寄った喫茶店で

う」と外出イベントを行ないました。堤防の桜並木を見てから、すいとぴあ江南の桜も見えてドライブしました。その後、喫茶店で美味しいコ

### 社会福祉法人尾張健友福祉会

ケアハウスちあき/地域交流スペース  
デイサービスセンターちあき

藤が丘デイサービスセンター  
介護保険サービスセンターちあき

岩倉小規模多機能ホーム・ちあき  
岩倉デイサービスセンター・ちあき

特別養護老人ホーム・ちあき 第一 第二  
萩原小規模多機能ホームちあき  
萩原グループホームちあき

電話番号・FAX番号は5面をご覧ください。

ーヒー、紅茶を飲み、手作りプリンも食べました。久しぶりのお出掛けでも喜んでいました。桜もきれいに咲いていて見ごたえがあり、堤防のドライブも大好評でした。

介護福祉士 横道 千恵子

保・平和活動や、千秋病院に求める事業提案、無料低額診療事業報告など質疑・報告が行なわれました。

3月28日にコミュニティプラザ友で個別相談会を開催しました。介護者3名が参加し、認知症介護指導者の方に熱心に認知症の症状を質問して

### 認知症の専門家に 介護者が個別相談

一宮市地域包括支援センターまちなかでは、認知症の専門家に介護者が相談できる機会として個別相談会を定期的に開催しています。

介護者から「古い食品を捨てられず、取っておいてしまう。古いからと言って説明しても捨てさせてくれない。どうしたらいいか」との質問がありました。認知症介護指導者の方から「捨てると伝えるのではなく、本人の気持ちに沿うように、娘さんが食べたいたから

らってもいい?と伝えてみたらどうか」と助言されました。

参加者から「限られた時間の中で全部は相談できなかつたが話を聞いていただき、楽になった」との意見が寄せられました。

認知症の対応で悩んでいる介護者の方、エリア外の方でもお問い合わせください。

☎0586(85)8672  
一宮市地域包括支援センターまちなか

堀川 祐規子